

株式会社山陰放送



株式会社山陰放送では、メールサーバの老朽化のためにLinux系のメールサーバからWindows系のメールサーバを検討していましたが、価格、導入実績、国産ソフトであるということが決め手となり、「E-Post Mail Server Enterprise 500user」を導入しました。

【導入の経緯】

Linux上でsendmailを稼働させていましたが、老朽化のために更新しました。当初はLinuxで更新する予定でしたが、Windows Updateを行うことによりセキュリティ対策が簡単にしかも無料でできることが最大の決め手となり、Windows系のメールサーバを導入することにしました。

「その他、慣れたWindowsの環境であること、既存のWindowsサーバ向けウイルス対策ソフトが利用できることなども大きな理由でした。さて、数あるWindows系メールサーバの中からE-POSTを選択したのは、価格の安さ、導入実績が豊富、完全国産のソフトであるため技術的サポートに期待できることが理由となったからです。」と語る山陰放送情報システム部の宮本英樹氏。

【使用の感想】

アカウントなどのセットアップを心配しておりましたが、社内のデータベースや移行元のLinux上のaliases(エイリアス)からテキストファイルを作成することにより、すんなりと移行できました。テキストファイルの作成に関しては、簡単なプログラムを作成しました。また、E-Postメールサーバソフト自体の操作は簡単かつ十分であり、今のところ決定的に足りない機能はありません。このような簡単な操作性のため、E-Postメールサーバソフトを習得するまでに多くの時間を費やさずに済むことも大きなメリットでしょう。Windowsソフトであるために、Linuxに慣れていない人でも扱えることも良い点です。

現在、問題なく動作しているのは当然として、本文中に含まれるURLからスパムを判断し、スパムであればメールの件名にスパムであることを知らせる文字列を付加する機能が、想像以上に好評でした。

【User Profile】 株式会社山陰放送

山陰放送は、「コミュニケーションの創造を目指し、地域とともに発展します」を企業理念に、昭和29年3月1日、それまでNHKしかなかった山陰地方で初の民間放送「ラジオ山陰」(略称はRSB)として開局、米子市東倉吉町でラジオ放送を始めました。昭和34年12月にはテレビ放送を開始、それにともない現在の西福原に新社屋を建設、移転し、昭和36年6月1日からは社名を「山陰放送」、略称をBSSと改め、山陰地方で唯一のラジオ・テレビ兼営民間放送局として今日にいたっています。

(HPより抜粋)

(本社)鳥取県米子市西福原1丁目1番71号 <http://bss.jp>

E-Postメールサーバユーザ事例

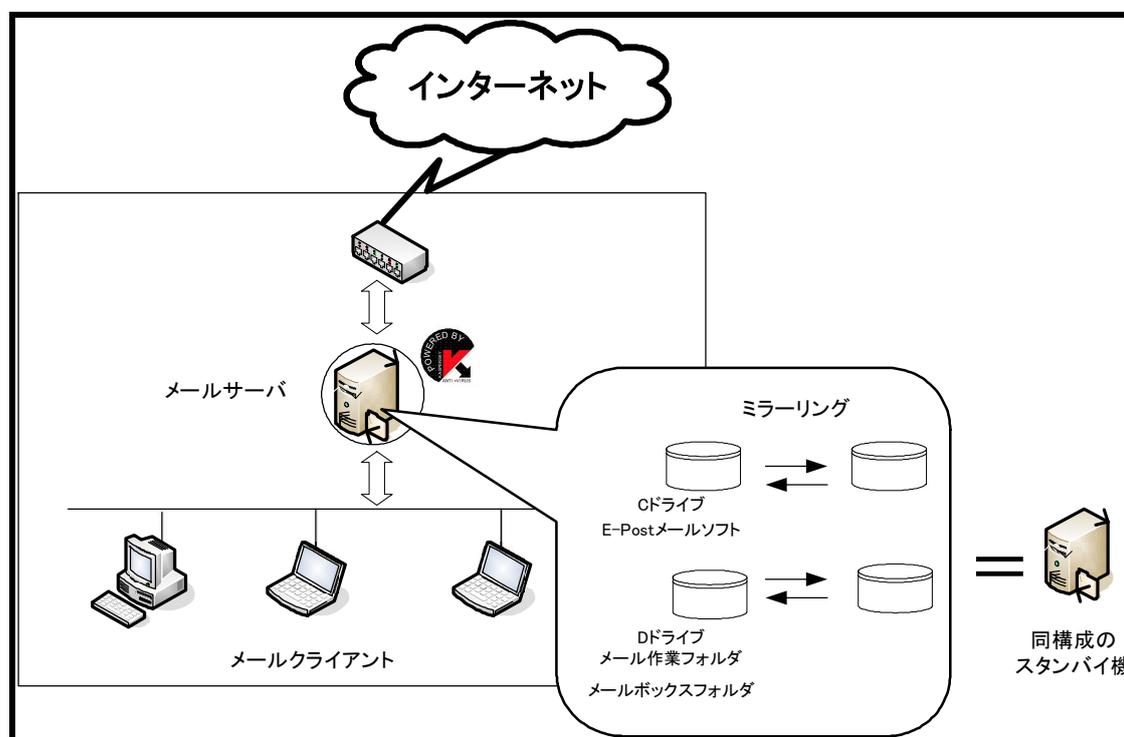
【システム構成】

CドライブにE-Postメールサーバのシステム、Dドライブにメールプールを置いています。それぞれハードディスクはミラーリングしていますので、合計で4台のハードディスクがあります。これらのハードディスクはカートリッジ式で電源を落とすことなく抜き差しできますので、どれかハードディスク一台に障害が発生した場合には、システムを止めることなく速やかに交換することができます。

また、本体は全く同じハード構成のスタンバイ機を別に用意していますので、電源等のサーバ本体に障害が発生した場合は、全てのハードディスクを障害が発生したサーバより抜き、それらをスタンバイ機に差しすることにより、短時間で復旧することができます。

将来のサーバ機更新においても、メールプールはDドライブで独立していますので、その新しいサーバのCドライブにE-Postメールサーバソフトをインストールし、旧サーバのメールプールであるDドライブを新しいサーバに差しすることにより、新しいサーバに少ない手間で行移りできるようになっています。

「技術的サポートは開発元であるが故に、期待通りの対応をしていただき、満足しております。何かあった時に相談できる窓口があることは、大変心強く思います。」(宮本英樹氏談)



Kaspersky社アンチウイルス付き